

当院に入院された患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

このたび当院では、誤嚥性肺炎で入院された患者さんの診療情報を用いた下記の臨床研究を、京都済生会病院倫理委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシー保護については当院の個人情報保護指針に沿って管理いたします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を問い合わせに示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

倫理委員会受付番号	令 8-05
研究課題名	急性期病院へ入院した誤嚥性肺炎患者におけるエネルギー密度の高い嚥下調整食摂取の影響
当院の研究責任者	京都済生会病院 栄養科 係長 塩濱 奈保子
本研究の目的	急性期病院に入院した誤嚥性肺炎患者において、エネルギー密度の高い嚥下調整食を摂取することで体重減少を抑制できることを明らかにする。
調査データ該当期間	2025年4月～2026年3月
研究の方法	【対象となる患者さま】 上記期間内に当院で誤嚥性肺炎で入院され、嚥下調整食を摂取して退院された方 【利用する情報】 電子カルテ上に記載のある診療記録、以下の情報を利用する。 年齢、性別、身長、体重、Body Mass Index（体格指数）、体重減少率、在院日数 リハビリテーション介入までの日数、食事開始までの日数、 退院時の摂取エネルギー量、喫食率、栄養状態（GLIM）、 【情報の利用について】 上記の情報について、後ろ向きに情報を収集します。過去の情報を使用するため、新たな検査などは不要です。得た情報をもとに、エネルギー密度の高い嚥下調整食が体重減少を抑制できるかを検討いたします。
情報提供を行う機関	日本摂食嚥下リハビリテーション学会事務局
プライバシーの保護について	利用する情報から、氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会発表等で公開される場合がありますが、その際も個人が特定できない形で行います。 <u>本研究への協力を望まれない方は下記の問い合わせ先までご連絡下さい。</u> 研究への協力を望まれない場合は、対象から除外し、一切の情報を使用いたしません。その際、通常診療において不利益が発生することはありません。

お問い合わせ	電話 075-955-0111 (代表) 京都済生会病院 栄養科 提供機関名称・長 京都済生会病院 院長 伊藤 義人 研究責任者 栄養科 係長 管理栄養士 塩濱奈保子
--------	--